

# Stand UP!!!! NO.48

2019年6月13日

発行責任者 佐久間 晃史

編集責任者 情 宣 部

## 2019年度 夏季手当妥結

# 基準内賃金×1.75カ月

JR貨物労組は本日、2019年度夏季手当の最終交渉を行い「**基準内賃金×1.75カ月**」で妥結しました。

災害による減収でも経常利益30億円まで回復させたのは私たち青年部員の不断の努力があったこと、経常利益140億円以上を目指すなら支払い能力は十分にあることを訴えてきました。また、長く続いたベアゼロによって期末手当を生活費に充てなければならぬ実情から、家族手当も期末手当に反映させることを繰り返し訴えてきました。

私たちの主張に対して会社は頑なに「昨年冬の実績を基本」との姿勢を崩しませんでした。昨年の夏季手当を上回る「基準内賃金×1.75カ月」まで積み上げる事が出来たのは全国の職場で青年部員が結集し声をあげ続けた成果です！！

## 経営陣よ！組合員の生活に思いを馳せろ(怒)

一方で職場は「いきいきと働ける」には程遠い現状です(怒)。また、新人事制度の実施に伴い期末手当が減額となる組合員に対しても会社は「全体としては増えている」という姿勢に終始し、「計画ありき」の経営姿勢が改めて浮き彫りとなりました。会社の言う「頑張った者が報われる」とは、特定の一部の人だけのことでしょうか？部署や職群を問わず、私達一人ひとりの奮闘によって貨物会社は成り立っていることを経営陣に認識させるためにも、全青年部員の団結をもって共に闘っていきましょう！！

**いきいきと働ける職場を創るのは私達だ！  
一人ひとりの声で経営姿勢を糾していこう！**